

## 第2回科学委員会開催

日時：2024年5月23日 14時～16時45分

場所：四谷保健センター5F 会議室

出席者：安成委員長、鹿野副委員長、中静委員、松田委員、マハラジャン委員、山本委員、  
渡辺委員、溝口委員、津田委員

事務局：梶理事長、手塚理事・事務局長、小林理事、堺、村上組織戦略委員会委員

欠席者：古川委員

梶理事長挨拶、安成委員長挨拶の後、安成委員長が議長となり議事進行しました。

### 1. 出席者による自己紹介、近況報告：

昨年5月から1年振りの委員会開催で、自己紹介および近況報告がおこなわれました。  
その中で山・自然をめぐる現状の課題にも触れられました。

### 2. 国際山岳年・国際山の日との関連：

渡辺委員から、日本の「山の日」と異なり毎年テーマがあり、これらの課題にどのように取り組んでいくか検討の要ある。またこれらのテーマは日本の状況と合致しないことが多い。国際的に成果をアピールする良い機会である。

協議会内に、国際的に発信する、情報・成果を共有する体制を作る

2022年12月の黒部シンポジウムの報告が、英文環境雑誌 Global Environmental Research に83ページにおよぶ特集として掲載された。

との報告がありました。

英文環境雑誌への掲載は、驚きとともに全員から賞賛されました。

協議会が日本の窓口になる方向で、渡辺/津田が関係機関に接触する方向が確認されました。

### 3. 今後の活動について：

2025年福井県開催の全国大会に関連して、科学委員会でシンポジウムを開催することについて意見交換がおこなわれました。

安成委員長から、大野市は水豊富、湧水見学も可能であり、全国大会会場が大野市に決まった場合は、大野市でのシンポジウム開催への骨子を作成するとの申出がありました。

毎年の全国大会の関連イベントで定例化したらどうかの提案が出され、全員の賛成を得ました。

### 4. メンバー拡大の件：

① 防災専門家を探す、②オブザーバーの名称を廃止、委員とすること③メンバー拡大を、徐々に進める、  
以上3点が確認されました。

5. ホームページ：

「良くわかる今どきの山の科学」の内容を充実させる呼び水とするため、各委員の分野の紹介を企画することが確認されました。

トップバッターをマハラジャン委員、松田委員が引受けてくれました。